

第1回 中札内村史編さん委員会 会議録

日 時 令和7年11月18日（火） 18:30～19:45
場 所 役場庁舎 会議室2
出席委員 高嶋重信、鳥倉弘之、山崎恵司、仲沢才子、林浩幸、杉江茂、鎌田則子
事務局 副村長 尾野悟里（村長代理）、総務課課長 渡辺大輔、
総務課長補佐 下浦強、総務課主査 金沢愛

議 事 （概要のみ）

1 開 会 18:30

2 委嘱状交付（副村長より）

3 村長あいさつ（副村長より）

4 報告事項

（1）村史編さん委員会の概要について

金沢主査：資料1に基づき説明（所掌事務、報償や旅費などについて）

渡辺課長：ただ今の説明についてご質問があればお願いします。

— 質問なし —

（2）過去の村史編さんについて

金沢主査：資料2に基づき説明（過去に発刊した2つの村史の発行年度や装丁などについて）

渡辺課長：ただ今の説明についてご質問があればお願いします。

— 質問なし —

5 議事事項

（1）委員長・副委員長の互選

渡辺課長：担当より選出方法についてご説明します。

金沢主査：事務局案をお示しさせていただき、ご承認いただければと考えております。

渡辺課長：ただ今ご提案した方法でよろしいでしょうか。

— 異議なし —

金沢主査：委員長には杉江委員を、副委員長には委員を提案します。

— 異議なし —

渡辺課長：就任にあたり一言ごあいさついただきます。

— 委員長、副委員長あいさつ —

渡辺課長：以後の議事進行については委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(2) 編さん方針について

金沢主査：資料3に基づき説明（名称、執筆要領、頒布方法、発行までの計画などについて）

委員：前回の村史の内容とどれくらい重複するのでしょうか。更別村など他の町村を調べた方が良いのでは。

金沢主査：更別村は各テーマの最初に略史を少しだけ記載して、その後は直近の内容（平成以降）を中心に記載しているようです。本村においては、前回の村史発刊より前の内容について1編2章の村の略史で触れる程度にする予定です。

委員長：予算はどれくらいの想定なのでしょうか。

金沢主査：どこまでの範囲を委託するのにかによりますが、自前で全て執筆をして、資料のデータ化やレイアウトの作成、校正のみを委託した場合は800万円程度の見込みです。執筆も委託する場合はさらに数百万円増加します。

【補足】800万円は、現在見積をもらっている2社の平均です。 なお、この内に印刷製本費用は含まれていません。

委員長：村民だけ安く販売するとなると、ではふるさと会の方はどうするのかなどの問題が出てきそうですね。

補助金の関係で販売が難しいのであれば、寄附を募ってはどうか。寄附いただいた方には村史をプレゼントということで。周知になりますし、関心を高めることもできますよね。

委員：寄附金をいただいても補助対象になるのでしょうか。

委員：寄附金を補助対象額から控除すれば、対象になるのでは。

委員：いただいた額が過充当（収入額が、その収入を充てる事業の支出額を超えること）にならなければ問題ないのでは。

金沢主査：寄附であれば問題ないと思いますが、詳細はこちらで確認します。

委員長：B5サイズが一般的なのでしょうか。そもそもB5版は日本独自のサイズですよ。

金沢主査：他自治体の事例を見ますと、B5のままにした所とA4に変えた所があります。編さん委員会の会議録を見ますと、かなり意見が割れているようですね。

委員：読み物とするのか、記録として残すのか、考え方によります。

委員：勝毎の百年史の形式はとても読みやすいですが、この書き方だと内容が薄くなりそうですね。記録として残す形だと、一般の人には読むのがつらいかもしれません。

委員：勝毎のは読みやすいですが文字数が入らないですよ。でも記録だけでこのページ分あると、正直読む気がなくなります。

委員：更別村の七十五年史は、表がかなり多く用いられていますね。

委員：どの範囲まで書くのでしょうか。これまでの村史と合わせた書き方だとページ数はかなり多くなるのでは。

委員：これまでの村史を読むと、村ができた経緯や戦争などの時代背景が書いてあって、興味深いと感じました。

委員：村史であるなら、重厚感がありしっかりとしているハードカバーが良いと思います。サイズも村史らしいB5サイズが良いと思います。

- 金沢主査：業者には、500 ページ以上の場合ハードカバーでなければ難しいとされています。
- 委員：カバーの素材によって金額は異なりますか。
- 金沢主査：布地のカバーは特注するそうなので、金額はかなり上がると思われます。
- 委員：ハードカバーの方が良いと思います。カラー写真を入れるのであれば、それなりに上質な紙を使う必要があります。横書きで良いと思います。
- 委員長：縦書き5段の町史を見ると、文字数がかなり多い印象です。
- 委員：5段だと文字が詰まり過ぎているように感じます。
- ちなみに最近の農協関係の記念誌は、A4 で写真を多く使っている所が多いようです。
- 委員：A4 サイズで 500 ページだと本の腰がもたないと思います。
- 委員：末永く残していくためには B5 のハードカバーが良いのではないのでしょうか。個人的な考えで言えば、A4 サイズは 20 年もたないと思います。B5 サイズの方が重み、風格があります。
- 金沢主査：B5 で 500 ページなので、内容を厳選する必要があります。30 年間の中でどの部分を取り上げるのか、偏り過ぎないか、といった視点が大切になると思います。
- 委員：例えば前回の村史ではエキノコックスについてだけで 7 ページ以上使っています。バランスも大切ですね。
- 委員：現在の広辞苑のサイズは B5 でしたか。
- 委員長：最近の百科事典は A4 サイズになっていますね。
- 委員：広辞苑は B5 だと思います。
- 委員：500 ページだと、更別村七十五年史の半分くらいの厚みですね。丁度良いのではないのでしょうか。
- 委員長：皆さんの意見から、B5 判・横書き・500 ページということでまとめます。
- 直近 30 年間であれば、ぜひカラー写真を入れたいです。
- 金沢主査：名称についてご意見はありますか。
- 委員：名称は仮にしておき、最後に決定しても問題ないと思います。
- 前回の村史発刊時には販売金額を決めていなかったため、いざ購入希望者が来た時に慌てて決めたと聞いています。販売金額はあらかじめ決めておくべきです。
- 委員：ホームページに公開するのは紙の村史配付時期と同じくらいでしょうか。
- 金沢主査：データが先に納品されるため、配付よりも先にホームページへ公開することも可能ですが、同時期が良いのではと考えています。
- （3）目次大綱について
- 金沢主査：資料 4 に基づき説明（目次大綱（案）について）
- 委員：日高山脈については村の概要の所に記載するのではなく、別で項目を立てて記載した方がいいと思います。
- 委員：村史を執筆する時に話題になっている事項については、多く記載して問題ないと思います。むしろ、その時代を象徴する事柄として、当時の雰囲気伝えやすくなるのではないのでしょうか。
- 委員：ここははずせないという話題については漏らさないようにすべきです。

委員 長：静内中札内線についてや、高規格道路については記載されていますか。

金沢主査：目次大綱（案）で言いますと、6編2章1節で記載する想定でした。

委員：文字の大きさは決めていますか。

金沢主査：まだ決定していませんが、読みやすい大きさとなるように心がけます。

委員：山村留学について記載はありますか。

金沢主査：現行の案から漏れていました。7編に記載したいと思います。節として別で項目を作る方法と、2章1節の上札内小学校のところで記載する方法があります。

委員：閉校した学校についても記載するとなっていますが、中札内高校のことを書くのでしょうか。

金沢主査：中札内高校についても記載しますが、それ以外にも過去に閉校した小中学校について表にまとめて掲載する予定です。

委員 長：庁舎改築については記載しますか。また、文化創造センターについてはどうですか。開村 50 周年の時にできたと思いますが。

金沢主査：庁舎については2編1章1節に、文化創造センターについては7編3章3節に記載しようと考えておりました。

開村 50 周年については前回の村史にも記載されているため、今回の村史では開村 60 周年以降についてのみ取り扱いたいと考えています。

委員 長：この他、皆さんから何かありますか。

会議以外でも何かあれば随時事務局までお願いします。

本日はこれで終了します。お疲れ様でした。

閉 会 19:45